

(2) 専門科目(園芸学科)

科目名	病害虫防除概論	開講時期	1年生後期
		時間数	15
担当者名	就技室：鍛治原	単位数	1
科目のねらい	農業生産を行う上で、病害虫・雑草等による被害を最小限に抑えることができるよう、発生要因と防除対策について基礎的な知識を理解させる。また、環境に配慮した総合的病害虫管理の考え方について学ぶとともに、農薬の適正使用について習得させる。		
到達目標	防除対策の基礎知識を理解させる。特に農薬の安全な使用方法を確実に習得する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 病害虫防除の基礎	2	担当者
	2 病害の発病条件と防除法	2	
	3 害虫の生態と防除法	2	
	4 雑草防除	2	
	5 病害虫の診断法	2	
	6 農薬の基礎知識と適正使用	2	
	7 総合的病害虫管理技術について	2	
8 筆記試験	1		
評価方法	筆記試験(期末1回)(80%) 授業態度(20%)		

科目名	植物育種	開講時期	1年生通年
		時間数	30
担当者名	就技室:松井、園芸課:刀禰、農技C研究員	単位数	2
科目のねらい	園芸作物の育種について基礎的な内容を理解し、山口県オリジナル品種の育成について理解を深める。		
到達目標	(1) 園芸作物の育種について基礎的な内容を理解する。 (2) 山口県オリジナル品種の育種を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 植物バイオテックの基礎	2	担当者
	2 植物の繁殖方法と遺伝子のはたらき	2	
	3 植物組織培養の基礎	4	
	4 品種登録制度の概要	2	
	5 植物バイオテックの実習	6	
	6 県オリジナル品種の育成	13	農技C研究員
7 筆記試験	1	担当者	
評価方法	(1)筆記試験(80%) (2)レポート・実習(10%) (3)受講態度(10%)		

科目名	植物生理	開講時期	1年生後期
		時間数	15
担当者名	園芸課:藤山	単位数	1
科目のねらい	作物栽培の実践への活用に資するため、植物の生理に関する基礎知識を習得させる。		
到達目標	植物生理の基礎知識を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 植物の位置づけ	1	担当者
	2 植物細胞・組織・器官の構造	1	
	3 水と溶質の輸送	1	
	4 発生と分化	1	
	5 被子植物の生殖	1	
	6 種子の休眠と発芽	1	
	7 環境要因(光、温度等)と植物の反応	2	
	8 植物ホルモン	1	
	9 物質代謝(ATP、酵素)	1	
	10 呼吸と光合成のしくみ	1	
	11 光合成のタイプと環境要因	2	
	12 窒素同化のしくみ	1	
13 筆記試験	1		
評価方法	(1)筆記試験(80%) (2)受講態度(20%)		

科目名	施設園芸(1年)	開講時期	1年生後期
		時間数	15
担当者名	就技室:木村、農技C研究員	単位数	1
科目のねらい	施設園芸に係る建物施設の構造・管理方法や各種園芸資材等の基礎知識・使用方法、環境制御に関する基礎知識を習得させる。		
到達目標	(1) 施設園芸に係る建設施設の構造及び各園芸資材の基礎知識を理解する。 (2) 冬期加温施設における省エネルギー対策、環境要因及び制御技術を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 施設園芸の概要、メリット・デメリット	2	担当者
	2 施設の種類と形式	1	
	3 マルチ、べたがけ資材の特徴	1	
	4 被覆資材の機能と特性	1	
	5 農業用使用済みプラスチックの適正処理	2	
	6 施設内環境の特性と制御、光制御	1	
	7 保温の原理	1	
	8 小テスト	1	
	9 湿度、二酸化炭素の管理	1	
	10 視察研修(農技C園芸研究室)	2	農技C研究員
	11 復習等(講義、ほ場見学)	1	担当者
12 筆記試験	1		
評価方法	(1)視察レポート(10%) (2)筆記試験(期末1回:90%)		

科目名	施設園芸(2年)	開講時期	2年生後期
		時間数	15
担当者名	就技室:木村、農技C研究員	単位数	1
科目のねらい	パイプハウスを実際に建てることで、建設の仕方を習得させる。		
到達目標	パイプハウスの建設方法を理解し、建設のための技術を身に付ける。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 パイプハウスの構造と使用工具(講義)	1	担当者
	2 パイプハウスの建設手順(講義)	1	
	3 部材の準備と印づけ(実習)	10	
	4 アーチパイプの挿込・連結(実習)		
	5 梁の取り付け(実習)		
	6 妻柱の建立、ドアの取り付け(実習)		
	7 筋交とレールの取り付け(実習)		
	8 フィルムの被覆(実習)		
	9 パイプハウスの解体(実習)		
	10 視察研修(農技C園芸研究室)	2	農技C研究員
11 筆記試験	1	担当者	
評価方法	(1)筆記試験(70%) (2)実習態度(30%)		

科目名	営農計画	開講時期	2年生前期
		時間数	15
担当者名	園芸課: 杉山	単位数	1
科目のねらい	就農に向けた手順や留意点を把握する。その上で、生活設計、就農支援制度などの基礎知識を習得し、具体的な就農計画を作成させる。		
到達目標	(1) 就農に必要な心構えや留意点を把握する。 (2) 新規就農までのプロセス、支援措置を把握する。 (3) 具体的な就農計画を作成するために必要な基礎的な内容を身につける。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 円滑な就農に必要なもの・心構え	1	担当者
	2 就農までのプロセス	1	
	3 就農に必要な基礎知識(基礎用語)	2	
	4 就農に向けた支援策	1	
	5 県内園芸産地の概要	1	
	6 就農に向けた営農計画作成	4	
	7 営農計画作成演習	4	
8 まとめ(筆記試験)	1		
評価方法	(1)筆記試験(70%) (2)提出物(20%) (3)授業態度(10%)		

科目名	流通販売演習	開講時期	1、2年生通年
		時間数	1年(40) 2年(40)
担当者名	園芸課: 藤山、就技室: 岩本	単位数	1年(2) 2年(2)
科目のねらい	青果物・花き流通のしくみを理解するとともに、販売実習を通じて多様な販売方式に対応できる企画能力の養成と、生産・販売技術の向上を図る。		
到達目標	(1) 市場及び直売所等における販売手法の工夫と実践 (2) 対面販売による消費者ニーズや市場動向の把握		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 販売実習の基本的な心構え・ルール、今年度の販売方針検討	2	担当者
	2 対面販売実施に向けた企画・運営・販売実習 (周南市道の駅、うめてらす他)	15	
	3 地域イベント参加による販売実習 (アジサイまつり、市農林水産業まつり他)	6	
	4 卸売市場、直売所等への出荷・調製実習 (防府青果、山口県中央花き、徳山花市場、周南市道の駅、スマイルほうふ、JA防府とくち直売所、山口農協直販)	12	
5 農大産農産物のPR等販売手法の検討(演習)	5		
評価方法	(1)実習態度(80%) (2)レポート(20%)		

科目名	GAP演習	開講時期	2年生通年
		時間数	20
担当者名	園芸課: 藤山、就技室: 鍛冶原、外部講師	単位数	1
科目のねらい	演習を通して、GAP実践の手法を習得し、模擬審査に対応することで認証制度について理解するとともにGAPの実践力を身につける。		
到達目標	食品安全、労働安全に対するリスク評価と改善内容について理解できる。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 HACCPの考え方によるリスク評価	8	担当者 外部講師
	2 模擬審査準備	6	
3 模擬審査(審査対応演習)	6		
評価方法	(1)演習態度(100%)		